

令和4・5年度 大島地区研究協力校「指導方法改善」 知名町立知名小学校公開研究会

研究主題

国語を学ぶよさを実感できる国語科授業の実現

～授業充実の3ポイントを基盤とした説明的文章の授業づくりを中心として～

1 研究の構想と視点

【学校教育目標】

健康で学ぶ意欲と豊かな心を持ち、
生きる力を備えた、たくましい知名っ子の育成

目指す子供の姿

目標の明確化	○ 教師や友だちと一緒に学習のめあてを設定し、学習の見通しをもって意欲的に取り組むことができる子供。
山場の工夫	○ 自分の考えを伝え、友だちの考えを聞くことで、自分の考えと他者の考えを比較して、共通点や相違点などを共有し、批判的にも共感的にも捉えることができる子供。 ○ 多くの見方・考え方から自分の考えを再考し、相手意識や目的意識をもって、表現することができる子供。
確かめ・見届け	○ 自分の学びを振り返り、学んだことを次の学びや他教科、実生活に生かすことができる子供。

子供との対話

説明文って、どんな学び方をしたらいいのかわからない。

どんなふうにかきたいのかわからない。

説明文を学習したら、どんな力がつくのかわからない。

国語の学習が好きになってほしい。国語を学ぶことのよさを実感してほしい。
【子供視座の授業改善へ】

研究仮説

授業充実の3ポイントを基盤とした説明的文章の授業づくりを通して、子供たちが身に付けたい力を明確にもち、目的をもって言語活動に参加し、自己の変容を振り返る機会をもつことで、国語を学ぶよさを実感できるのではないかと。

研究の視点

- 1 「考えたい」と思わせる導入の工夫【目標の明確化】
- 2 言語活動の創意工夫【山場の工夫】
- 3 学ぶよさを実感する振り返りの工夫【確かめ・見届け】

2 研究の実際

(1) 「考えたい」と思わせる導入の工夫【目標の明確化】

ア 教材との出会いの工夫

- ・ 視覚的導入素材の提示
- ・ 教材名から内容の推理
- ・ 範読・音読の工夫
- ・ 初発の感想・交流

イ ゴールの確認と学習計画の作成

- ・ 「学びの山」を使った学習計画表の作成
- ・ 読みのアイテム(低8, 中12, 高12)を活用した学び方の習得



(2) 言語活動の創意工夫【山場の工夫】

ア 「題材・内容」理解のための多様な音読活動

音読の様子



イ 表現方法の工夫

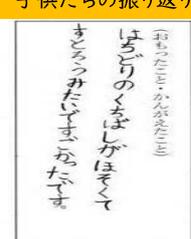
- ・ 観点の提示やモデル文の提示、フォーマットの提示
- ・ 対話活動で大切にしていること
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びのつなぎ
- ・ つぶやきをつなぐ・つなげる・つながる



(3) 学ぶよさを実感する振り返りの工夫【確かめ・見届け】

ア 1単位時間の振り返り「わがともまつよ」の積み重ね

子供たちの振り返り



ふり返りの言葉

- わかったこと
- がんばったこと
- 友達と学んでよかった所
- もっと知りたいこと
- 学んで考えが変わった事
- 使ってみたい事
- 予想(次はどんな学習かな)

イ 家庭学習における取組

- ・ 日記指導—表現方法、漢字使用
- ・ 週1作文—6年生
- ・ 週1新聞ヨンドク—5・6年生
- ・ 保護者向け学力向上だより発行等

3 研究授業及び全体会・分科会の様子

	研究授業	分科会	全体会 I (開会行事)
一年国語			
三年国語			研究発表
五年国語			全体会 II (指導講話)

研究公開アンケートより

- ・ 子どもたちとの対話から始めた事は、とてもいいことだと思う。
- ・ 説明的文章は児童の苦手意識が強いが、導入の工夫で意欲をもたせるようにしてあると感じた。
- ・ 第3学年の分科会でした。授業がとても活発で、子どもたちが意欲的に活動していたということが話題になりました。グループ討議だったので他の参加者の意見を聞くことができ、よかったです。
- ・ 説明的文章に関しては、本校も苦手意識がある児童が多い印象であるため、参考になった。
- ・ 学びの山はイラストに表現されており、ゴールが明確化されていて、子どもたちが学習を見通すには、とてもいいと思いました。
- ・ 子供に寄り添った研究だと感じました。また、授業充実の3ポイントを基盤とし、パターン化により、子どもたちが見通しを持って学習に望めるなあと思いました。
- ・ 児童が成長を実感しにくい説明文を、高度に体系化させて児童に確実に力がつくように理論だてられていると感じました。